

ちゅうおう

2025
1/1

デジタル版も
こちらで
ご覧になれます



Multilingual

重

為



特集

江戸のメディア王 葛屋重三郎 をたどる



令和7年1月放送開始の、大河ドラマ「べらぼう」葛屋重三郎(葛重)は中央区にゆかりのある人物です。本特集では、出版者としての葛重の手腕や、区内の関連スポットなどを紹介します。葛重のことを知り、ゆかりの地を巡ってみませんか。

〈出典〉国立国会図書館デジタルコレクション収録(<https://dl.ndl.go.jp/pid/2533327/1/32>)を加工して作成

2面・3面に続きます

新年のご挨拶



中央区長
やまもと たいと
山本 泰人

新年明けましておめでとうございます。

区民の皆さまにおかれましては、令和7年の新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年も、「大江戸まつり盆おどり大会」や「観光商業まつり」、「まるごとミュージアム」などさまざまなイベントに多くの方にご参加いただきました。さらに、昨年12月に開催した第1回「晴海まつり」も大盛況のうちに終わることができ、区内が活気にぎわいに溢れていることを区長として大変うれしく感じております。

一方で、能登半島地震の発生や、南海トラフ地震臨時情報の発令などを受け、防災対策には終わりが

ことを改めて痛感いたしました。昨年は「地域防災計画」の修正に加え、新たな備蓄物資などの配備、各家庭への防災用品カタログギフト配布を通じた家庭内備蓄の促進など、地域防災力の一層の強化や防災意識のさらなる向上を図るための取り組みを機動的に進めてまいりました。また、「プレディプラス」事業の実施、「ふくしの総合相談窓口」開設などの子育て・福祉サービスの充実や物価高騰対策など、区民の皆さまが日々直面している課題に対し適切な対策を講じ、暮らしを守る取り組みを推進してまいりました。区民の皆さまには、各施策にご理解・ご協力をいただき心から感謝申し上げます。

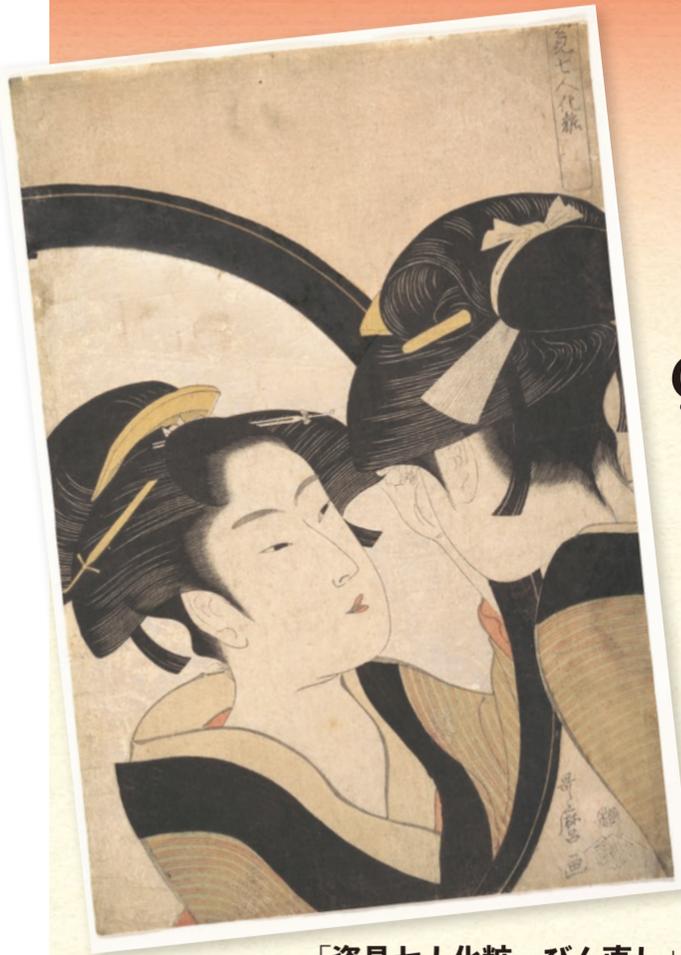
本区の定住人口は、なお力強いペースで増加しており、令和9年度中には20万人に達する見通しです。こうした中、首都高速道路日本橋区間の地下化、築地川アメニティ整備構想、東京高速道路(KK線)の活用による緑のプロムナード化、築地市場跡地の再開発など、将来に向けた都市基盤整備が進行しています。引き続き関係機関や事業者、地元との調整を進め、区内で進行中のさまざまな都市基盤整備の機会を捉えて本区の魅力を一層高めてまいります。また、環境施策としては、再生可能エネルギーの利用拡大などを目的に

福島県大熊町と締結した連携協定に基づく住民交流なども始まっており、今後も区民・事業者・区の連携、地域間連携を図りながら脱炭素社会の実現に向けて取り組んでまいります。

本年1月から放送される大河ドラマでは、江戸随一の出版人、葛屋重三郎の生涯が描かれます。日本橋の通油町(現在の日本橋大伝馬町)に開いた書店「耕書堂」を活動拠点として、山東京伝、喜多川歌麿、東洲斎写楽などの作品を次々と出版した本区にゆかりのある人物です。令和9年3月の区制80周年に向けてシティプロモーションの取り組みを推進している中、区民の皆さまが地域の歴史文化資源の魅力を発掘・発信する契機となりましたら大変喜ばしく思います。

区といたしましては、区民の皆さまが地域への誇りや愛着心を持ち、より一層暮らしやすいまち—中央区セントラルパーク構想—を目指してさまざまな施策を展開し、本区の将来像「輝く未来へ橋をかける一人が集まる粋なまち」の実現に向け全力を尽くしてまいりますので、皆さまの一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が皆さまにとって幸多き一年となりますよう心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



「姿見七人化粧・びん直し」

喜多川歌麿・画 寛政4～5年(1792～93年)*推定

〈出典〉ColBase(https://colbase.nich.go.jp/collection_items/tnm/A-10569-1847)をもとに加工

広告的な発想があったんですね 蔦重には人を集めてくる



鈴木俊幸氏

中央大学文学部教授。中央大学文学部、同大学大学院を経て現職。狂歌・戯作研究の一環として蔦屋重三郎の研究を始め、現在は江戸時代から明治時代前期までを対象として、書籍文化研究を広く行っている。主著に『蔦屋重三郎』(若草書房)、後に増補し『新版 蔦屋重三郎』(平凡社)他多数。

蔦屋重三郎 研究の 第一人者 鈴木俊幸氏にお話を 伺いました

Q 後世の人々から「江戸のメディア王」と呼ばれる蔦屋重三郎(以下、蔦重)。彼が活躍した江戸は、当時どんなまちだったのですか？

18世紀後半ごろの江戸は、長年の上方文化の影響・支配から脱却し、独自の文化圏を構築しつつありました。その一つは食。野田のしょうゆといった調味料や近郊野菜、江戸湾の豊富な魚などの自前の食材が安定的に供給され、調理する技術が生まれました。もう一つは酒。伏見や灘から下ってくるものに匹敵するような良い酒を醸す技術が確立。食べ物と飲み物が安定してくると、「江戸っていいな」と思うんですね。

それから、歌舞伎のスター誕生、江戸独自の荒事が確立した他、祭りなどの行事も盛んでした。学芸では徂徠学。柳沢吉保に仕えた儒学者の荻生徂徠が提唱した学問が全国を席

巻していく。また、浮世絵がフルカラーの印刷になって錦絵と称され、一番の江戸土産となりました。

そこで吹いた風のもう一つが経済。田沼意次の経済施策により、江戸のまちが経済的にも活性化し、どんどん上向いていきました。そのころ、武家の間でも和歌や漢詩などの文芸が流行し始め、武家の文化がまちの文化と融合。戯作なども出てきて、おしゃれなもの、センスの良いものが生み出されてくる。他国に誇れる江戸の文化が花開き、江戸っ子としての自信と誇りに満ちた、まさに“アゲアゲ”の時代といえたのではないのでしょうか。

Q 生誕の地、吉原で蔦重が手掛けた最初の仕事について教えてください

蔦重が生まれたのは絶頂期の江戸、吉原。寛延3年(1750年)、当時の吉原は最先端、最新流行の風が流れ、江戸の繁栄を象徴したようなまちでした。「かっこよく遊びたい」という人々が集まり、いろいろな見方はあるけれど「おしゃれなまち」として、ぜいたくな建築や調度品、一流の食べ物と酒、芸事を楽しむ人々でにぎわっていた。蔦重の感性は、新しいものに絶えずさらされている吉原のまちのこうした雰囲気背景に磨かれていったのです。

安永(1772年～)のころになると、吉原の経済・文化のけん引役は大名から魚河岸の旦那や札差など裕福な町人へ移行。そうした中、遊びのために散財できない人たちは次第に吉原から離れていきました。吉原に人の目を向け集客を図るために、華やかな行事を催し、江戸市中に魅力をアピール・発信していこうという中で、吉原で本屋を始めた蔦重は、その仕事に関与していった。彼の広告的発想センスと吉原側の思惑がうまい具合に合致したのか、蔦重自身が吉原を動かしたのかは分かりませんが、彼の出版業は吉原の洗練したイメージを売り込むような摺物を手掛けたところから始まりました。その後、鱗形屋孫兵衛が出版を継続できなくなった時、吉原から初めて出る「吉原細見(妓楼や遊女のガイドブック)」を発売。やり手なんですね。これが大ヒットし、吉原の名物本屋として一目置かれる存在になって蔦重の名前が江戸中に響き渡っていったのです。

Q 成功をつかんだ蔦重は日本橋へ進出します。なぜこの地が選ばれたのでしょうか？

天明3年(1783年)、通油町(現在の日本橋大伝馬町)に「耕書堂」を出店した蔦重。日本橋は江戸の本屋業界の中心地。そこに店を出すのはステータスであるし、吉原から来て、ど真ん中の日本橋に出店するのはビッグニュースでした。人を集めてくる広告的な発想がそこにあったんですね。同業者も多く取引がしやすい立地で、地代は割高なるも話題性と集客力は抜群。うまく回転すれば商売には絶好の土地なんですよ。そこでも蔦重は「おしゃれな店」というブランドイメージを固めていきました。江戸狂歌が流行すると、狂歌に関する摺物や本を蔦重が独占的に出版していきます。人気狂歌師の大田南畝を店の看板に掲げ、「私の作品も大田南畝の御用達であるこの店から出したい」という雰囲気を作り出していき、ここが蔦重のうまいところ。いかに店に人を集めて買ってもらうか、営業力を高めるか、その一つの柱が出版だった、ということなんです。

Q 快進撃を続けた後、晩年にかけてどんな生涯を生きたのですか？

蔦重は、地方の農村部での知的欲求の高まりをいち早く察知して、寛政3年(1791年)には江戸の書物問屋に加入し、江戸以外のマーケットを開拓。山東京伝の作品や、江戸発の地本を地方へ向けて流通するアイデアをひらめきます。寛政期の厳しい取り締まりにより出版規制を受けるなど不遇が重なりましたが、逆境を逆手に躍進し、歌麿や写楽ら人気絵師たちをプロデュースするなど出版界に君臨し続けました。

その後の寛政9年(1797年)、蔦重は病により享年48歳でその生涯を終えています。

現代の中央区のビル群に18世紀当時の江戸の面影をみるのは難しいですが、蔦重が活躍した頃を想像しながらまちを散策するのもよいでしょう。



「三代目大谷鬼次の江戸兵衛」

東洲斎写楽・画 寛政6年(1794年)

〈出典〉ColBase(https://colbase.nich.go.jp/collection_items/tnm/A-10569-471?locale=ja)をもとに加工

葛重の時代に思いをはせながら、歩いてみるのもオススメです♪



広報モデルの方にご協力いただきました

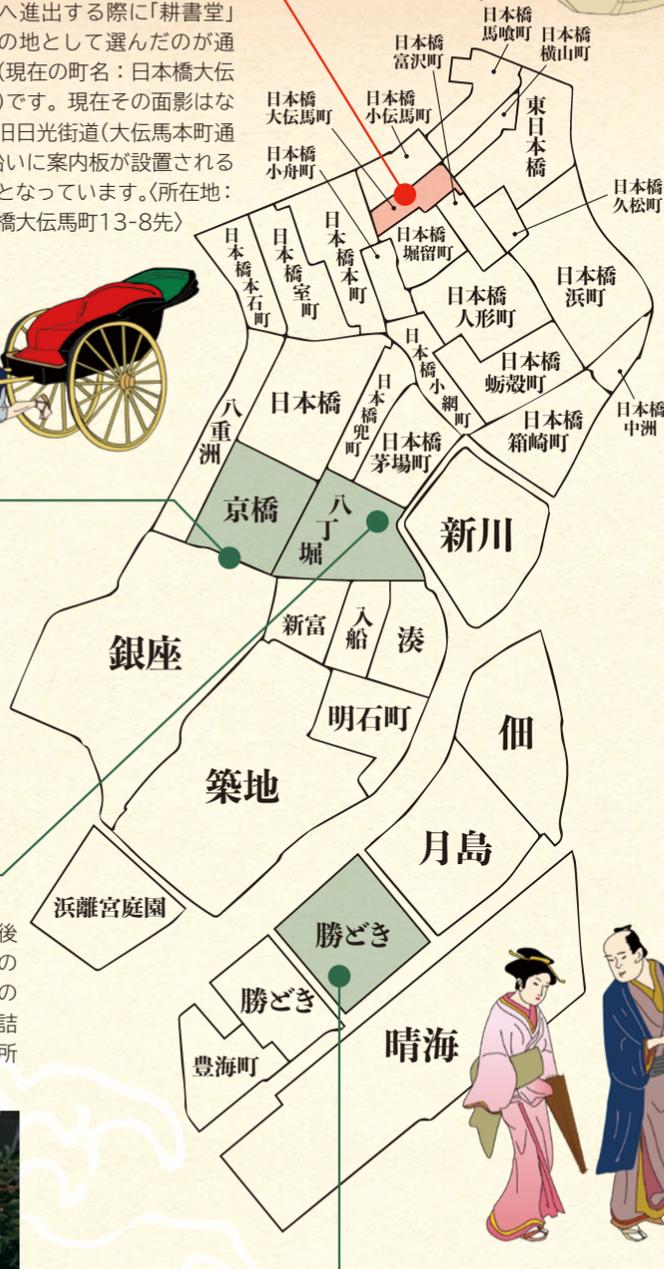
葛屋重三郎 耕書堂跡

天明3年(1783年)に葛重が日本橋へ進出する際に「耕書堂」出店の地として選んだのが通油町(現在の町名:日本橋大伝馬町)です。現在その面影はなく、旧日光街道(大伝馬本町通り)沿いに案内板が設置されるのみとなっています。(所在地:日本橋大伝馬町13-8先)



日本橋・八丁堀・勝どき…

葛重ゆかりの地を巡る



山東京伝 ゆかりの地

葛重と長年の間、深い交流関係にあった山東京伝。13歳頃に京橋へ転居後、浮世絵の技法を北尾重政に学び、黄表紙の画工・作者として活動しました。通称の「伝蔵」と「京橋」から文字をとり「京伝」の号を名乗りました。ちなみに「山東」とは江戸城紅葉山の東の居住地を意味します。

東洲斎写楽の説明板

出自不明、活動期間10カ月の「謎の絵師」写楽。後年の考証から江戸八丁堀に住む徳島藩の能役者の斎藤十郎兵衛だったという説があります。当時の八丁堀は与力同心の屋敷地でした。亀島橋の橋詰には写楽に関する案内板が設置されています。(所在地:八丁堀2-30-18先)



十返舎一九の墓碑

江戸に出て来た一九の居候先が、葛重の拠点日本橋でした。彼の仕事を手伝いながら作品を次々に発表し続けました。勝どきにある東陽院の門前には、一九に関する石碑や文化財説明板があります。(所在地:勝どき4-12-9)



歌麿・写楽を発掘した仕掛け人

「江戸のメディア王」葛重ゆかりの作家たち

葛屋重三郎
1750~1797
版元・耕書堂店主

寛延3年(1750年)江戸の新吉原で生まれる。貸本・小売り主体の本屋を開業。吉原細見の自版に成功した後、天明3年(1783年)通油町(現在の日本橋大伝馬町)に進出して地本問屋「耕書堂」を立ち上げる。洒落本・黄表紙・浮世絵などの作家の発掘育成とともに、人気作品の出版・販売の才に長け江戸の出版界の中心人物に昇りつめた。寛政9年(1797年)没。

東洲斎写楽(生没年不詳) 絵師

写楽が描いた作品は全て葛重の元から版行。寛政6年(1794年)の10カ月間で約140点もの浮世絵を制作した謎の多い絵師。作品の大半は歌舞伎俳優の大きな顔や演技などの個性を強調して描いた「大首絵」と呼ばれる役者絵で、特に迫力ある初期の作品群の評価が高い。

十返舎一九(1765~1831) 戯作者・絵師

駿河国(現在の静岡県)で浄瑠璃を執筆していた一九は、30歳頃に葛重の元で居候(通油町の「耕書堂」)生活を開始。その文才と絵心を認められて黄表紙を出版して売れっ子作家となった。享和2年(1802年)の「東海道中膝栗毛」が大ヒットし、以後21年間にわたって続編を刊行。

喜多川歌麿(1753~1806) 絵師

かつて葛重の「耕書堂」に身を寄せ、狂歌絵本の作画を担っていた歌麿。葛重の発案で美人画に大首絵の画法を採用した錦絵「婦女人相十品」を発表すると、作品は爆発的な人気を博した。歌麿は写楽とともに浮世絵師としての才能を葛重に見い出されて大成した絵師の1人。

山東京伝(1761~1816) 戯作者・絵師

深川出身。養父の転居先だった京橋で浮世絵師・戯作者としての活動を開始。同時に吉原で葛重との交流を重ねる。黄表紙・合巻・読本・滑稽本など多彩なジャンルで活躍。寛政の改革による出版統制を受けて彼が手掛けた洒落本が風紀を乱すものとして摘発の対象にもなった。京伝は現在の銀座一丁目(煙管・紙たばこ入れの店を営んだ)。

令和6年度

中央区二十歳のつどい



日 1月13日(祝)

- ・受け付け 午前10時～
- ・式典 午前11時～(2時間程度)

場 ロイヤルパークホテル

(日本橋蛸殻町2-1-1)

対 平成16年4月2日～平成17年4月1日に生まれた方

内 ・記念式典

- ・二十歳のつどい
- ソフトドリンクを提供し、実行委員会が企画するクイズ大会などを行います。

その他

令和6年12月中旬に送付した案内状に同封の入場券を、当日必ずお持ちください。区内にお住まいで、案内状が届いていない方はご連絡ください。

映像配信

当日は会場の様子をライブ配信します。なお、対象者とその家族、区関係者のみの限定公開です。お顔が映る場合があります。

動画は1月13日午前11時から視聴できます。字幕入り動画も後日公開します。

問 中央区二十歳のつどい実行委員会事務局

(文化・生涯学習課内)

☎(3546)5304



詳しくは区HPへ

障害者ポッチャ交流会

ポッチャの魅力を発見・体験していただくため、障害者を対象とした交流会を開催します。

日 2月15日(土)

午後1時～3時

場 総合スポーツセンター主競技場

対 区内在住・在勤・在学の障害者とその家族、同伴者など

◎介助が必要な場合はご家族の同伴をお願いします(同伴する方も一緒に楽しむことができます)。

内 講師である佐藤駿さんによる実技披露、試合形式によるポッチャの実践

◎申し込みは1チーム最大5人まで(1人での申し込みも可)。

◎2人以下で申し込み場合は当日チームの調整をします。

定 40人(抽選)

申 1月15日までに申し込みフォーム、電話またはFAXで、①代表者(競技に参加する方)の氏名・ふりがな②

〒・住所③電話番号④年齢⑤障害の種類⑥参加者(代表者と同じチームで参加する方)の氏名・ふりがな、年齢、障害の種類⑦同伴者(競技に参加しないが、一緒に来場する方)の氏名・ふりがなを記入して問へ。

◎運動制限を受けている場合は主治医に相談の上、ご参加ください。

◎当日は手話通訳者・要約筆記者を配置します。

◎傷害保険は区が加入します。

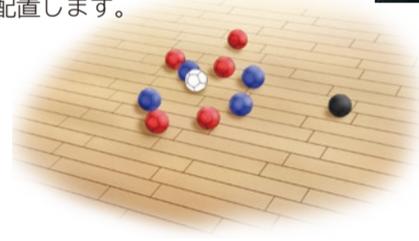
問 スポーツ課スポーツ事業係

☎(3546)5531

☎(3546)9561



▲佐藤 駿さん



詳しくは区HPへ



申し込みフォーム

納期の特例適用者の 給与などの源泉所得税および 復興特別所得税の納付は 1月20日まで

源泉所得税の納期の特例を適用し、令和6年7月～12月の間に給与や賞与、退職手当、税理士などの報酬・料金などについて源泉徴収をした所得税および復興特別所得税の納付期限は、1月20日です。

なお、納付税額がない場合でも、所得税徴収高計算書を税務署へ提出してください。

また、提出および納付は、便利なe-Taxをご利用ください。

「法定調書」の提出は1月31日まで

令和6年分給与所得の源泉徴収票などの法定調書の提出期限は、1月31日です。なお、法定調書の種類ごとに、令和5年中に提出すべきであった法定調書の枚数が100枚以上であった場合には、e-Tax、光ディスク、クラウドなどにより提出する必要があります。

問 日本橋税務署

☎(3663)8451(代表)

京橋税務署

☎(4434)0011(代表)

令和7年度

給与支払報告書の 提出は1月31日まで

給与の支払いをしている事業者の方は、1月31日までに給与支払報告書(総括表・個人別明細書)を1月1日現在で給与所得者が居住している住所地の区市町村長に提出してください。

この給与支払報告書を基に、5月中旬ごろ、区市町村長から令和7年度の住民税額(特別徴収分)が通知されます。

なお、1月1日から通知書を送付するまでの間に納税義務者が国外転出する場合には、納税通知書を本人の代わりに国内で受け取り、納税する納税管理人が必要です。

問 税務課課税係

☎(3546)5270

給与支払報告書の提出は、便利な電子申告システム(eLTAX)をご利用ください

eLTAXのご利用には、あらかじめ電子証明書の取得など、所定の手続きが必要です。

問 eLTAXヘルプデスク

☎(0570)081459



詳しくはeLTAX
(地方税ポータルシステム)HPへ

情報コーナー

ChuoCity Information

はがき・FAXなどの申し込みの記入例

原則1人
1枚限り

◎注意事項

- 往復はがきの場合は返信用宛名に〒・住所・氏名を記入
- Eメールの場合は、件名に講座名などの名称を記入
- 申込先からメール受信できるように設定してください
- 消せるペンは使用不可

◎在勤・在学の方へ

- 勤務先(学校名)とその所在地、電話番号も記入

◎図に〒・住所が記載されていない場合の宛先は

- 〒104-8404築地1-1-1中央区役所
- 〇〇課〇〇係(図の宛名)

- ①講座名など
- ②氏名・ふりがな
- ③〒・住所
- ④電話番号
- ⑤年齢
- ⑥その他 必要事項

場子ども家庭支援センター「きらら中央」勝どき分室地域活動室

対区内在住で未就学児の保護者

内幼児期の成長、発達や子どもへの関わり方などを学ぶ講座。

定12人程度(抽選)

申1月27日までに申し込みフォームまたは電話で問へ。

託1歳~未就学児(参加申込時に申し込む)

◎1歳未満の子どもは一時預かり保育を利用

問子ども家庭支援センター「きらら中央」勝どき分室

☎(3534)2103



申し込みフォーム

場シニアセンター1階

対50歳以上の区内在住・在勤のパソコン初心者

内インターネットとメールを中心とした説明、操作(OSは、Windows10)を学習します。

定各回10人(抽選)

申1月15日(必着)までに申し込みフォームまたは往復はがきに①~⑤(5面記入例参照)⑥在勤者は勤務先の名称・所在地・電話番号⑦パソコン経験の有無・年数⑧希望する回を記入して問へ。

問シニアセンター

〒104-0051

佃1-11-1

☎(3531)7813



申し込みフォーム

高齢者



いきいき館(敬老館)新春のつどい

いきいき桜川(桜川敬老館)

日1月26日(日)

午後2時30分開演(午後2時開場)

場いきいき桜川ホール

内民謡コンサート

定80人(先着順)

申1月5日から直接館内窓口へ。

いきいき浜町(浜町敬老館)

日1月17日(金)

午前10時30分開演(午前10時開場)

場いきいき浜町大広間

内日本舞踊鑑賞会&体験会

定50人(先着順)

申1月5日から直接館内窓口へ。

いきいき勝どき(勝どき敬老館)

日1月17日(金)

午後1時30分~

場いきいき勝どき大広間

内新春落語

定60人(先着順)

申1月4日から直接館内窓口へ。

共通

対60歳以上の区内在住者(いきいき館の利用者証が必要)

問いきいき桜川(桜川敬老館)

☎(3553)0030

いきいき浜町(浜町敬老館)

☎(3669)3385

いきいき勝どき(勝どき敬老館)

☎(3531)3258

ストラップ手作り教室

日1月11日(土)

午後2時~3時

場いきいき浜町教養室

対60歳以上の区内在住者(いきいき館の利用者証が必要)

内干支:巳年のストラップ作り

定24人(先着順)

申1月5日から直接館内窓口へ。

問いきいき浜町(浜町敬老館)

☎(3669)3385

中高年齢者のためのパソコン教室

回・1回目

2月3日~27日の毎週月・木曜日(全8回)

・2回目

3月3日~27日の毎週月・木曜日(全8回)

午前10時~正午

子ども・子育て



多摩の森自然体験ツアー ひのはら「MOKKI NO MORI」 冬山ハイキング&山仕事体験

日2月8日(土)

・集合 午前7時30分

・解散 午後5時30分(予定)

場丸の内鍛冶橋駐輪場(千代田区丸の内3-8-2)(集合・解散)

時坂地区、MOKKI NO MORI(行き先)

対区内在住・在学の小学生と保護者(保護者1人につき2人まで引率可能)

内・冬山ハイキング

・山仕事体験

・たき火講習会

定親子10人(抽選)

◎千代田区、中央区、台東区、品川区、荒川区、葛飾区から募集し、計60人参加予定(最少催行人数20人)。

費2,500円/人(昼食・保険代含む)

申1月4日~18日にHPまたは電話で問へ。

問(株)阪急交通社東京団体支店営業三課

☎(6745)1351

(午前9時30分~午後5時30分)



詳しくは阪急交通社HPへ

ワークを通して江戸湊の歴史を学ぶ学習会など

◎各学習会の詳細・申し込み方法などは「家庭教育学習会のお知らせ」(HP)からダウンロード可、区役所8階文化・生涯学習課、社会教育会館、図書館などで配布をご覧ください。

問中央区地域家庭教育推進協議会事務局(文化・生涯学習課内)

☎(3546)5526



詳しくは区HPへ

育休復帰準備講座 ~自分らしさを大切に、ライフとキャリアのために~

日2月8日(土)

午前10時~正午

場オンライン(Zoom)

内育児休業から職場復帰を予定している女性・男性の不安解消に役立つ講座。復帰後の方やご家族も一緒に参加できます。

定30人程度(先着順)

申1月5日からHP、電話またはFAXに①・②(5面記入例参照)③電話番号④メールアドレスを記入して問へ。

問総務課男女共同参画係

☎(5543)0651

☎(5543)0652



詳しくは区HPへ

トークイベント&交流会~はるみの子育てを地域の大人で支える

日2月8日(土)

午前10時~正午

場はるみらい集会室1・2

内親同士で学び合うネットワークコミュニティを運営するゲストから、地域で子どもを支えるイベント運営事例を学び、まちで子育てする上での悩みなどを考えます。

定20人(抽選)

申1月5日~2日2日にHPから申し込む。

問晴海地域交流センター「はるみらい」

☎(3531)2743



詳しくははるみらいHPへ

本の森子どもワークショップ 「百人一首かるたをやってみよう!」

日1月26日(日)

午前10時~正午

場本の森ちゅうおう(京橋図書館)

1階多目的ホール

対小学生

内競技かるた名人を講師に、百人一首競技かるたをチーム戦形式で実施。

定50人(先着順)

申1月6日からHP、電話または直接問へ。

問本の森ちゅうおう(京橋図書館)

☎(3551)2151



詳しくは図書館HPへ

幼児期の成長と発達~子育ての悩みQ&A!~

日2月5日(水)

午前10時30分~正午

家庭教育学習会

内冬に浜離宮へやってくる鳥を観察する学習会や、ダーツ・バスケットボールを体験する学習会、フィールド



高齢者向け写経教室(まとめコース)～文字も心も美しく～

日 2月5日・19日、3月5日・19日
(いずれも水曜日/全4回)
午前9時30分～11時30分
場 シルバー人材センター研修室
対 原則60歳以上の方
内 小筆を使って「般若心経」を写す。作品として飾れることを目指す。
定 16人(抽選)
費 2,800円(教材費を含む)
申 1月10日(必着)までに往復はがきに①～⑤(5面記入例参照)、⑥申し込み理由を記入して問へ。
問 中央区シルバー人材センター
〒104-0032
八丁堀3-17-9
京華スクエア1階
☎(3551)2700

健康・福祉



健康セミナー「ヨガ健康法教室」

日 2月5日～26日の毎週水曜日
(全4回)
午後6時30分～8時
場 築地社会教育会館3階第3和室
対 区内の中小企業に勤務する方および区内在住者
内 ・全身のほぐしと基本の動きを体感
・基本の動きとバランスアップで身体の土台作り
・身体をリラックスさせる呼吸法を学ぶ
定 20人(抽選)
費 1,000円
申 1月16日(必着)までに往復はがきまたはEメールに①～⑤(5面記入例参照)⑥在勤者は勤務先(名称・所在地・電話番号)を記入して問へ。
問 レッツ中央(中央区勤労者サービス公社)
〒104-0061
銀座4-9-8
NMF銀座四丁目ビル2階
☎(3546)8610
✉kinro_oubo@chuo-tokyo.com

知的障害者生活支援施設 レインボーハウス明石 令和7年度入所申し込み開始

施設への入所は、定員に空きが生じた場合に、事前に行う調整会議で決定する待機順位の上位の方からとなります。
[申込対象者]
18歳以上の知的障害者で受給者証の交付を受けた方
[申込期間]
1月7日～2月3日
[順位発表]
3月中旬ごろ
問 障害者福祉課相談支援係
☎(6281)5077
詳しくは区HPへ

バランスの良い食事とは? 料理カードで食事づくり

日 2月4日(火)
午前10時～11時30分

場 はるみらい料理スタジオ
対 18歳以上
内 栄養バランスの良い食事づくりのコツを学ぶ座学の講座。また、食卓に並ぶ料理から、健康的な食事につながるポイントを学びます。
定 15人(先着順)
申 1月5日～2月3日にHPから申し込む。
問 晴海地域交流センター「はるみらい」
☎(3531)2743

詳しくは
はるみらいHPへ



ファミリー・サポート・センター 提供会員(有償ボランティア)募集

ファミリー・サポート・センター事業は、子育ての手助けができる方(提供会員)と、子育ての手助けが必要な方(依頼会員)が、お互いに助け合いながら子どもの成長を地域で支えていく、会員制の相互援助活動です。会員登録は無料です。

提供会員の活動

内 ・保育園、幼稚園などの送迎
・提供会員の自宅での預かりなど(対象の子どもは区内在住で生後57日～小学校6年生)

[活動謝礼]

1時間につき800円
(曜日・時間帯により1,000円)

提供会員登録講習会

日 ①2月1日(土)
午前9時30分～午後4時
②2月15日(土)
午前9時30分～午後2時30分
場 子ども家庭支援センター「きらら中央」
対 満20歳以上の健康で子どもが好きな方、子育て支援に理解と熱意があり、2日間の講習会を受講した方(資格不要)

◎ご自身の子どもの預けたいという方も「両方会員」として同時登録可。

内 センター事業説明、保育講習、救命講習

定 20人(先着順)

申 1月6日～23日に電話、FAXまたはEメールで、①～④(5面記入例参照)⑤託児の有無を記入し問へ。

託 生後3カ月～未就学児(定員6人)

問 中央区ファミリー・サポート・センター

☎(3206)0120

☎(3523)6386

✉family@shakyo-chuo-city.jp

講座・催し



男女共同参画講演会「みんなで考えるSNSの今と未来」

日 2月27日(木)
午後7時～8時30分
場 男女平等センター「ブーケ21」
内 SNSで誰かを傷つけたり追い詰めたりしないためにどうすればよいの

か、SNSの誹謗中傷がもとで娘を失った講師の話から考えます。

師 NPO法人リメンバーハナ
代表理事 木村 響子

定 30人程度(先着順)

申 1月5日からHP、電話またはFAXに①・②(5面記入例参照)③電話番号を記入して問へ。

問 総務課男女共同参画係

☎(5543)0651

☎(5543)0652

詳しくは区HPへ



ばらのコサージュ教室

日 2月8日(土)
午後2時～4時
場 人形町区民館5階1号室
対 区内在住・在勤・在学者
内 アーティフィシャルフラワーで2種類のコサージュを作る。
定 12人(抽選)
費 1,000円
申 1月5日～28日に電話で問へ。
問 人形町区民館
☎(3668)5537
(午前10時～午後8時)



京橋図書館ミニシアター

日 1月18日(土)
午後2時～
場 本の森ちゅうおう(京橋図書館)
1階多目的ホール
内 「紅白が生まれた日」(邦画、72分)
定 50人(先着順)
申 当日、直接会場へ。
問 本の森ちゅうおう(京橋図書館)
☎(3551)2151

詳しくは図書館HPへ



映画上映会～最高の人生の見つめ方 ハリウッド版～

日 1月25日(土)
①午前10時～
②午後2時～
場 浜町メモリアル4階会議室
対 区内在住・在勤・在学者
内 午前の部は字幕、午後の部は日本語吹き替え版で上映。「人生を楽しく生きるのに遅すぎることはない」というメッセージが心に響く映画です。
定 各回40人(先着順)
申 1月3日から電話で問へ。
問 浜町メモリアル
☎(5695)8051
(午前10時～午後8時)

淡水パールでペンダントトップとイヤリング作り

日 1月25日(土)
午後1時30分～4時

場 京橋プラザ区民館
対 区内在住・在勤・在学者
内 淡水パールを使ってペンダントトップとイヤリングを作る。
定 10人(抽選)
費 800円
申 1月6日～13日に電話で問へ。
問 京橋プラザ区民館
☎(3561)5163
(午前10時～午後7時)

～能登半島地震から一年～「災害ボランティア入門講座」および「災害ボランティアセンター運営訓練」

⑦災害ボランティア入門講座
日 1月25日(土)
午前10時～午後0時30分
場 中央区社会福祉協議会3階大会議室
内 実際の被災現場で活躍している方を講師に迎え、基本的な知識や心構えなどを講義とグループワークを通して学びます。未経験者・経験の浅い方もお気軽にご参加ください。
⑧災害ボランティアセンター運営訓練
日 2月14日(金)
午後1時30分～4時30分
場 区役所8階大会議室
内 ボランティア入門講座を踏まえて、運営訓練を実施。

共通

対 区内在住・在勤・在学者
定 20人(先着順)
申 ⑦は1月6日～24日に、⑧は1月14日～2月7日に申し込みフォーム、電話またはEメールで①参加者氏名②電話番号③在住・在勤・在学を記入して問へ。
問 中央区社会福祉協議会ボランティア・区民活動センター
☎(3206)0560
✉vc@shakyo-chuo-city.jp

「災害ボランティア
入門講座」
申し込みフォーム



「災害ボランティア
センター運営訓練」
申し込みフォーム



勤労者のためのパソコン講座 「パワーポイント活用」

日 2月17日(月)～21日(金)(全5回)
午後6時30分～8時30分
場 ハイテクセンターパソコン研修室
対 中小企業に勤務する区内在住・在勤者で、Word・Excelの基本操作のできる方
内 より見栄えが良く訴求力のあるスライドの作成を目指す。
定 20人(抽選)
費 6,000円
申 1月20日(必着)までに往復はがきまたはEメールに①～⑤(5面記入例参照)⑥勤務先(名称・所在地・電話番号)を記入して問へ。
問 レッツ中央(中央区勤労者サービス公社)
〒104-0061
銀座4-9-8
NMF銀座四丁目ビル2階
☎(3546)8610
✉kinro_oubo@chuo-tokyo.com

スポーツ



障害児・障害者を対象としたスポーツ・レクリエーション教室

日 1月19日(日)午後
①2月1日(土)午前
②2月16日(日)午後
③3月16日(日)午後
◎午前は10時~11時、午後は2時~3時

場 ①月島スポーツプラザ第2武道場
②総合スポーツセンター小体育室
③福祉センター第1・2号室

対 区内在住・在勤・在学の障害者
◎介助が必要な場合はご家族などの同伴をお願いします(同伴者も一緒に楽しめます)。

内 ①・②・③:ポッチャ
④:テニス

定 各回10人(先着順)

申 各開催日の1週間前までにEメールまたはFAXで①参加したい教室の記号②~⑤(5面記入例参照)⑥在学者は学校名・学年⑦障害の程度・種類⑧同伴者の人数・氏名・ふりがな・年齢⑨FAXで申し込む場合はFAX番号⑩在勤者は勤務先の名称・所在地・電話番号を記入して問へ。

◎運動制限を受けている場合は主治医に相談の上、ご参加ください。

◎傷害保険は運営側で加入します。

問 中央区地域スポーツクラブ大江戸月島事務局
〒104-0052
月島3-12-8
☎070(6980)6899
☎(5546)3591
✉contact@oedo.tokyo.jp

詳しくは 大江戸月島HPへ



税・国保・年金



20歳でスタート国民年金

日本に住んでいる20歳以上60歳未満の方は、必ず国民年金に加入し保険料を納めなければなりません。

国民年金の加入

20歳になった方で厚生年金に加入していない方は、日本年金機構から、「基礎年金番号通知書」の他、保険料の納付書、免除、学生納付特例制度などのお知らせと、返信用封筒が送付されます。「基礎年金番号通知書」は、加入する年金制度の変更手続きや年金の請求手続きなど、生涯にわたり使用しますので大切に保管してください(すでに基礎年金番号通知書をお持ちの方には送付されません)。

20歳になってから2週間程度経過してもお知らせが届かない場合は、国

民年金の加入手続きが必要です。区役所4階保険年金課、各特別出張所または中央年金事務所まで手続きをしてください。また、20歳になったときに厚生年金・共済年金に加入している配偶者に扶養されている方は、配偶者の勤務先を経由して、国民年金第3号被保険者の加入手続きをしてください。なお、20歳までに海外に出国して国内に住所がない場合は、加入が不要です。国民年金加入のお知らせが届いた際は、中央年金事務所へご連絡ください。

問 中央年金事務所国民年金課
☎(3543)1411(代表)
音声案内②→②を選択
保険年金課年金係
☎(3546)5371

特別区民税・都民税・森林環境税(普通徴収分)第4期分の納期限は1月31日

金融機関、郵便局、コンビニ、スマートフォンアプリまたは区役所2階税務課、各特別出張所で納めてください。

なお、コンビニやスマートフォンアプリでの納税は、金額が30万円以下のバーコードが印字された納付書に限ります。

問 税務課収納係
☎(3546)5277

おしらせ



高齢者雇用企業奨励金

中央区では、働く意欲のある高齢者が年齢にとらわれず、いつまでも働ける就労環境を整備するため、高齢者雇用を積極的に行う事業主に対して、高齢者雇用企業奨励金を交付しています。

奨励金の額

2~6万円

◎労働時間や雇用期間により異なる。

主な交付要件

- ・無料職業紹介所シルバーワーク中央またはハローワークから紹介を受けている
・雇入れ日現在、65歳以上の中央区民と週20時間以上の雇用契約を締結し、実際に一定時間労働させている
・雇用した高齢者を6カ月以上継続して雇用している など

申請に必要な主な書類

- ・交付申請書(HPからダウンロード可)
・雇用契約書の写し(週労働時間が20時間以上の雇用契約が確認できるもの)
・無料職業紹介所シルバーワーク中央またはハローワークからの紹介状の写し、紹介証明書 など

申請方法および申請期限

雇入れた日から、6カ月または1年を経過した日の翌日から3カ月以内に、申請書などを問へ提出してください。

問 高齢者福祉課高齢者活動支援係
☎(3546)5334

詳しくは区HPへ



ヴィラ本栖直通バス料金の改定・運行ルールの変更

4月1日から、ヴィラ本栖への直通バス料金を値上げします。また、料金改定に伴い運行ルールを一部変更します。

主な変更内容

- ・バス料金を値上げ
(例)大人料金(在住・在勤)
5,000円→6,000円
・バス料金を「在住・在勤」、「その他」の区別に設定
・片道運行の廃止
・東京駅八重洲口発着を廃止

問 ヴィラ本栖フロント
☎(0120)162312
(東京23区内からのフリーダイヤル)
☎0555(87)2711



詳しくはヴィラ本栖HPへ

祝日のごみ収集

1月13日(祝)「成人の日」は、月曜日の収集地域で通常どおり、燃やすごみ・燃やさないごみ、資源およびプラスチック製容器包装の収集を行います。

問 中央清掃事務所作業係
☎(3562)1521

コミュニティふれあい銭湯

日 1月8日(水)・22日(水)

場 区内公衆浴場(銭湯)

費 100円(敬老入浴証持参者と小学生以下は無料)

◎区内在住・在勤であることが確認できるもの(運転免許証、健康保険証、社員証など)を必ず持参してください。本人の住所・勤務場所が確認できない場合は一般料金となります。

問 地域振興課区民施設係
☎(3546)5623

「中央区まちかど展示館」季刊誌Vol.17(日本橋エリア編)発行



中央区に伝わる多様な文化資源を紹介している「まちかど展示館」では、季刊誌を発行し展示館の魅力を発信しています。今回発行した「Vol.17日本橋エリア編」では、豊かな水辺と共に歴史と伝統を育んできた展示館の紹介と川と橋の今昔を写真で特集しています。季刊誌は区役所や各まちかど展示館、区内の東京メトロ駅ラックで配布する他、HPからダウンロードできます。

問 まちかど展示館運営協議会事務局(文化・生涯学習課内)

☎(3546)5346



詳しくは まちかど展示館HPへ

あたたかい善意 ありがとうございます

社会福祉協議会への寄付(令和6年10月分)

合計77,317円(敬称略・順不同)

[一般寄付金]

佃二丁目鈴木猛夫...1,107円、ちゅうおうボラネット交流サロン...8,400円、日本橋式典...5,000円、

(有)三谷葬儀社...10,000円、三谷和美...5,000円、匿名(6件)...39,810円(内 訳 10,000円、10,000円、3,810円、10,000円、1,000円、5,000円)

[ボランティア基金]

匿名...8,000円

問 中央区社会福祉協議会 管理部庶務課
☎(3206)0506



図書館利用者懇談会

図書館を利用している皆さんから図書館の運用やサービスについての意見を聞き、より身近な図書館として親しんでいただくことを目的に利用者懇談会を開催します。

京橋図書館

日 2月22日(土)
午後2時~3時30分

場 本の森ちゅうおう(京橋図書館) 1階多目的ホール

日本橋図書館

日 2月1日(土)
午後2時~3時30分

場 日本橋図書館6階図書館ホール

月島図書館

日 2月9日(日)
午後2時~3時30分

場 月島区民センター1階会議室 晴海図書館

日 2月15日(土)
午後2時~3時30分

場 晴海図書館3階会議室

共通

申 当日、直接会場へ。

問 本の森ちゅうおう(京橋図書館)
☎(3551)2151

日本橋図書館

☎(3669)6207

月島図書館

☎(3532)4391

晴海図書館

☎(5166)3131

図書館の臨時休館

施設の保持点検などのため以下のとおり、臨時休館します。

京橋図書館・日本橋図書館

2月10日(月)

月島図書館

2月11日(祝)

問 本の森ちゅうおう(京橋図書館)

☎(3551)2151

日本橋図書館

☎(3669)6207

月島図書館

☎(3532)4391

晴海図書館

☎(5166)3131



人口と世帯(住民基本台帳) 12月1日現在

人口 187,297人(うち外国人 12,543人)

男 89,563人(うち外国人 6,273人)

女 97,734人(うち外国人 6,270人)

世帯 106,532世帯

新春 メッセージ

東根市長 土田正剛



新年明けましておめでとうございます。

区民の皆さまにおかれましては、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年さまざまな事業を通して、両都市の絆を深めることができました。

晴海地域交流センター「はるみらい」において6月に開催した「中央区さくらんぼ祭」では、実に5年ぶりとなるさくらんぼ種飛ばし大会を開催させていただきました。非常に盛況であったと報告を受けています。

また、8月に開催された「中央区大江戸まつり盆おどり大会」では、会場内において本市特産品を販売する機会をいただき、「果樹王国ひがしね」を大いに発信させていただいたところであります。いずれの事業も中央区の皆さまより、多大なるご尽力をいただきましたことに感謝申し上げます。

なお、来月開催される「中央区雪まつり」へ、雪をプレゼントさせていただきます。麩入り芋煮や玉こんにやくの提供、啓翁桜をはじめとする物産販売など「ひがしね」の冬をお届けいたしますので、どうぞ楽しみにお待ちください。

さくらんぼの苗木が縁で始まったこれまでの交流が、今後さらに発展し、友好の絆が堅固になることを願っております。

結びに、これからも中央区のますますのご発展と、区民、市民を中心とした心に残る交流ができますことを願うとともに、区民の皆さまのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

土田正剛



サザランド市長 ジャック・ボイド

中央区の皆さま、新年おめでとうございます。サザランド市の新市長になりましたジャック・ボイドです。姉妹都市のサザランド市を代表して心からご挨拶申し上げます。

2024年は、待ちに待った姉妹都市の学生間交流プログラム「海外体験学習事業」が5年ぶりに再開したことにより、両都市のつながりが新たに生まれた年でありました。休止期間を経て、サザランド市の学生が中央区の美しい街を訪れ、豊かな歴史と文化を思う存分に味わう貴重な経験となりました。この経験は、友情を強めるだけでなく、お互いの文化の理解を深め、関わった人たちに高く評価されています。サザランド市も、中央区の学生をお迎えすることを心待ちにしておりました。ホストファミリーは、美しいビーチや国立公園の他、友好的で安らぎのある地域文化など、全てに誇りを持って紹介しました。海外体験学習で出会った友人たちが集まり、楽しく盛り上がったお別れ会では、これからも続いていく

姉妹都市関係をお祝いしました。2025年を迎え、この交流の継続にさらなる期待をしております。この交流が若い世代にとって貴重な体験になるとともに、視野を広げ、グローバルな観点を育む機会であると確信しています。33年間にわたる中央区との姉妹都市関係はサザランド市にとっての誇りです。「海外体験学習事業」は私たちの絆を強くし、友好と相互理解を育んでいます。

2025年も、多くの出会いを楽しみしながら、両都市の絆がより強く結ばれていくことを期待しています。サザランド市を代表して、中央区民の皆さまのご健康とご多幸、そしてご繁栄のある一年となるよう心よりお祈りいたします。

ジャック・ボイド



第101回 東京箱根間往復 大学駅伝競走

1月
2日・3日

中央通り



3日の復路で中央通り(京橋~日本橋北詰間)を駆け抜けます。

1月
4日

浜町
運動場

こども たこあげ 大会

新春の空の下、自分で作ったたこで、たこあげを楽しみます。



1月
5日

「築地魚河岸」初荷

築地
魚河岸

新鮮でおいしい目利きの厳選食材を求めて、多くのお客さんでにぎわっています。



1月
11日

新年こども 羽根つき大会

総合
スポーツ
センター

区立小学校の児童が、コートいっぱいに熱戦を繰り広げます。



お詫びと訂正

「区のおしらせ ちゅうおう」12月15日号に誤りがありました。お詫びして訂正します。

2面「区施設などの年末年始のご案内」表内における「児童館」の開館日
正 1月3日 ×(休止)
誤 1月3日 ○

区の公式HPやSNSをチェック!

区公式ホームページ



X(旧 Twitter)



Instagram



YouTube



LINE

